

## 静岡県湖西工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

本事業は、「天竜・東三河特定地域総合開発計画」の一環として施工された工業用水の供給事業で、原水を豊川用水より取水して、湖西市にある浄水場で浄化し、湖西市、新居町の20余の工場に給水している。

工業用水を供給している湖西市を中心とする地域は、近年、自動車、自動車部品、電気機器製造業などが発展し、1事業所あたりの工業製品出荷額は県下一（平成18年）となっている。

当工業用水道は、これら企業の水需要の増加や地下水障害（水位低下、塩水化など）の深刻化を背景に建設され、地域産業の振興に重要な役割を果たしている。

### ○事業の経緯

配水施設工事は昭和40年度に着工し、昭和43年11月から給水を開始した。しかし、給水開始以来20年余を経過し、配水管として使用していた石綿管の老朽化が激しくなったため、平成2年度よりダクタイル鋳鉄管への布設替えを始め、平成3年度からは国庫補助事業として採択され、平成11年度末には全ての配水管の布設替えを完了した。また、薬品注入設備の更新や管理棟庁舎の耐震補強工事を行うなど浄水場設備の改良も進めた。

### ○豊川用水の概要

豊川用水は、国土総合開発法に基づき天竜・東三河特定地域に指定され工業整備特別地域・農業経済圏の指定などを受けて、愛知県東南部の平野および渥美半島全域並びに静岡県湖西市の地域に、農業用水・水道用水・工業用水を供給する事業である。この事業は水源開発から末端圃場までの給水施設を一貫して施行する事業であるうえ、食糧増産のための開墾さらに水道専用施設も含めた総合開発事業である。

当初は農業用水単独事業として昭和24年9月農

林省の国営事業として着手したが、昭和33年に水道用水・工業用水を含む多目的事業に変更し、さらに昭和36年に愛知用水公団が事業を引継ぎ、国営・県営・団体営事業を一括して施工し当事業を完成させた。その後、水資源開発公団が、一元的に利水管理を行い、この地域の発展に多大な貢献を果たしてきた。

### ○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m <sup>3</sup> /日)
紙・パルプ	1	100
電気・機械	18	14,883
その他	4	430
計	23	15,413

### ○工業用水道施設の概要

湖西工業用水道事業は、豊川用水東部幹線導水路の愛知県豊橋市二川地先から分水し、雲之谷支線を経て湖西市新所原字梅田地先まで農業用水と共同で導水している。これより工業用水として分水し、梅田浄水場に導水し、水処理後配水管路約20kmを利用して、湖西、新居地区の塩水混入により被害著しい地域の工場に給水している。

計画給水量は30,690 (m<sup>3</sup>/日) であり、現在同量の施設能力を有している。

### ○事業の特徴

豊川用水は、水需要に対し集水流域が狭く、水需要量に対し貯留量が少ないため、昭和52年以降毎年のように節水を余儀なくされている。

### ○静岡県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/kigyou/>  
(給水区域図：前ページ下に掲載)

○湖西工業用水道概要図

